

Safe Volu

(Former First Aid)

静岡県赤十字安全奉仕団機関紙 No.54 平成18年10月1日発行

平成18年度静岡県・浜松市総合防災訓練開催！！

9月1日は、全国的な予知型の訓練が開催され、今年度の静岡県の会場型訓練は、浜松市庄内町の浜名湖花博駐車場跡地をメイン会場として開催されました。当日はあいにくの雨天となり、駐車場跡地ということで会場内は水浸しでテントも設置できない状況でした。悪天候で訓練参加者の「安全第一」を基本にすすめられたため、やむを得ず当初の訓練内容を大幅に縮小し、浜松・引佐赤十字病院救護班と安全奉仕団は、県西部浜松医療センター・県看護協会と合同で患者受入にかかるトリアージ訓練を実施しました。雨のなかご協力いただいた団員のみなさんお疲れ様でした。(訓練・研修部会)

「ワールドファーストエイドデー」を浜松市で開催

9月の第2土曜日は「ワールドファーストエイドデー」です。今年は「救急の日」と重なって、「救急法」についての広報活動が、普段よりも盛況だったと思います。今年は、浜松市市野町「イオン浜松市野ショッピングセンター」において、「心肺蘇生法体験コーナー」「展示コーナー」等で多くの買い物客の目を引きました。本団は、4人の団員を派遣し、広く来場者にファーストエイドの大切さを訴えました。(赤十字事業部会)

「第3回救急員フォローアップ講習」に全面協力

支部事業として、本団の発案で開催されることになった「救急員フォローアップ講習」は、今年を3回目として10月1日に支部庁舎で開催されます。既に受講希望者は80人を越え、毎年盛況です。今年も本団が全面的に協力をして、この講習を展開していきます。

この講習は、「赤十字講習規定」とは関係ない講習ですので、自由な発想で展開できる内容ばかりです。ただし、赤十字救急法の内容を否定するものではありません。ですから、一般社会ですぐに役立つ「救急法の知識と技術」の紹介を内容としています。実際、「救急員養成講習」はその性格上、検定対策的な講習内容で指導が進められていることは否めません。これがいいのか悪いのかは判断をしかねますが、実際に社会の中で実践出来なくては・・・講習の目的は達成できているとは言えません。本講習を受講することによって、より身近で役立てることができると思います。(赤十字事業部会)

今月の眼(見た)・耳(聴いた)！「疲れ目の原因は使いすぎ!？」

起きている間、目は常に働いています！細かな作業をしているときには特に疲れます。眼精疲労は大きく分けると4つのタイプに分けられます。

- ① かすんだり・ぼやけたり…と、目の筋肉疲労が原因で調整機能の低下で起こる疲労。
- ② ダブったり・見えづらくなったりと、眼球を動かす筋肉の働きに起こる疲労。
- ③ 目を酷使して、目の筋肉だけでなく神経系の働きが悪くなって起きる疲労。
- ④ その他、様々な目の病気によって目の組織に負担がかかり起きる疲労。。。などです。

また、ストレスが原因で起きる眼精疲労もあります。目を酷使していませんか？適度な休息や適切な照明、ビタミンAやB群が豊富な食品を多く摂るように心がけ、あなたの大切な目に疲れをためないようにいたわってあげましょう。(機関紙・広報部会)

台風13号で被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。